

2022年8月4日

報道各社 御中

全国農業協同組合連合会三重県本部（JA全農みえ）

県産ナシのできばえを競う品評会を開催します

三重県の特産品のひとつ、ナシが出荷ピークを迎えるなか、そのできばえを競う「第2回三重県なし品評会」を開きます。

本品評会は、生産者の栽培技術の向上により、消費者が望む高品質でおいしいナシの生産を推進するとともに、消費拡大をはかることを目的としています。

品評会はこれまで、県内3産地でそれぞれ開かれていましたが、これらを一本化して県域での品評会を昨年から開催することとなりました。幅広い生産者の高い栽培技術が評価され、産地間で共有されることで、多くの生産者のモチベーション向上がはかられ、県全体の生産振興につながることを期待します。

当日は、各産地から100点以上のナシ（品種：幸水）が出品予定で、県普及・研究機関や県内卸売市場の関係者が、果実の外観や糖度などを評価し、最高位の「農林水産大臣賞」をはじめとする各賞を決定します。

ご多用の折に恐縮でございますが、ぜひ取材いただきたく、下記のとおりご案内申し上げます。

記

◆ と き：2022年8月10日（水） 9：00～15：00ごろ

※審査スケジュールは別紙をご確認ください。

◆ と ころ：JA三重ビル 5階大会議室（津市栄町一丁目960）

◆ 主 催：三重県園芸振興協会

◆ 事務局：JA全農みえ 営農対策部

担当：渡邊、小川 TEL059-229-9058

【ご取材時のお願い】

ご取材時は、新型コロナウイルス感染症対策（マスク着用、手指消毒、一定距離の確保など）へのご協力をお願いいたします。

スケジュール

※進行状況により、下記時刻は前後に若干ずれる場合があります。

ご取材おすすめ時間帯
9:00~11:00

項目	時刻	時間(分)	内容
1次審査	9:00~ 12:00	180	審査員ミーティング、目ぞろえのあと、果実外観(形やそろい、色など)、糖度の審査
集計・準備			1次審査終了次第、集計し、2次審査対象ナシを決定(1次審査の上位20点程度)
2次審査	13:00	60	審査員による果実内容の審査
集計・準備	14:00	30	2次審査終了次第、集計し、入賞者選考の対象ナシを決定
審査会	14:30	30	審査員による入賞者選考
閉会	15:00		

三重県なし品評会とは

県産ナシの栽培技術と品質の向上で消費拡大をはかることを目的に、三重県園芸振興協会(会長:前田孝幸、事務局:JA全農みえ営農対策部)が昨年より開催する品評会です。

県中央農業改良普及センターや県農業研究所、県内卸売市場の関係者が、各産地から出品されたナシの審査を行います。果実の形状や玉ぞろい、着色、糖度などさまざまな項目を総合評価し、最高位の「農林水産大臣賞」をはじめとする各賞を決定します。

入賞者の表彰式は2023年7月ごろに予定しています。

三重県のナシ概要

結果樹面積	139ヘクタール(2020年産)農林水産統計より
収穫量	2530トン(2020年産)農林水産統計より
出荷量	2280トン(2020年産)農林水産統計より
栽培品種	「幸水(こうすい)」「豊水(ほうすい)」などが主力
産地	津市、松阪市、四日市市、伊勢市、伊賀市など
生育状況	2022年産は、平年に比べ3日ほど開花が早く、大きな病害もなく順調に生育しており、例年どおり食味のよい果実に仕上がることが期待されます。
現況	産地では、高品質な果実を省力的で安定的に生産できる新たな栽培方法(ジョイント栽培、根圏制御栽培など)の導入がすすんでいます。